現地責任者の獨創

戦闘精神で建設

鈴木金書院總裁南方狀況報告

皇軍掩護の下、蘇薩政藩の和平軍の

きはめて旺盛である

(東京電路) 過数南方各地 和な 現地視察報告を 行った、 同繁密はおいて、詳

【東京電話】大東忠戦下電路の記念日に置り必木連線院の記念日に置り必木連線院

る、するはちさきには船和 温管軍を設立して延進の図 素管理を断行したほか機帆 素管理を断行したほか機帆 を管理を断行したほか機帆 を管理を断行したほか機帆

松木海務院長官談

**陷落の危機は刻々に迫りつゝある** 軍のロストフ包圍態勢は略々完成し、今や同市はドイツ軍地上部隊の 直接攻撃圏内に入り軍のロストフ包圍態勢は略々完成し、今や同市はドイツ軍地上部隊の 直接攻撃圏内に入り、ベブエノスアイレス特電】(#mag) ビシー※電、ドイツ産際に5の網報によれば、ロストプ級階を目指すドイツ

獨軍の直接攻撃圏内

フ包園完成

するに至ったと十九日夜次の瓜く報じてゐる、現在ロスト

とめる一方戦車部隊を次々と編出して歴史するが軍を観覚せしめてや部はミレロボ東方地區に陸空両軍を集結し戦車、殲撃の律治につ

獨の扇型作戦着々進捗

ある。

說社

樞軸

軍の握手

ことが出來る。けだし同職は の運命によつても想像する

臓であつたはずだからで

年リ。 草月 夏八季。 上朝日本

悪商 重遊

主力の殲滅近し

精鋭、滿蒙國境に軒昂

龍泉、浦城を爆撃

ーユージーランド方面への

のであつて、斯くて狭めてかつあることも一座物へられる

即氏は廿日正午第一助役職本【東京電話】東京市長大久保

長辭表提出

刊新社論公央中

我が時代の歴史フリードリッと大王著石原莞爾

(定仮三・五〇一二〇) で仮三・五〇一二〇) でで、素としても戦史上忘るべまにオーストリイ継承戦

『職職保護院 樹生力の健康課堂 藤敷に耐へあらゆる地形の駅床村「見北麓線に七十日周野の大わが「ある、なぶ行動開始以来十二日間「つくある「東北麓線に七十日周野の「原北麓線に七十日の「際において頭々閣議して

米使節 赤都で又空手形

政府は温粉杰米英画圏に對し第

船舶難打開至難 英輿論、政府を痛撃

伊田大島方言集 柳田國男編製の高級では一十一〇十二二)で東へられる。本書は好參考資料たるを失はな。酸高國字の問題は離先からうけった地方方言の基礎的解決への示唆が東へられる。本書は好參考資料たるを失はな。

ズマタイ ズマシ

書店に豫約御申込を毎號賈切れにつき

通商協定成立場物兩國間

【プエノスアイ

マルケス港へ

外交官交換船

船が不足に悩む米英

聖雄ガンチーを語る

衣科の弱點はこれで解決!

海上輸送力の增强

正に急務中の急務

海の記念目・寺島遞相喝破す

※ 将來他聚七洋運動のわが運動隊隊 ドナ するので、今日船は緩らあつても す

・ 戦所に剥かすことで、政府は脳 ・ 政策の第一は現在の縦膜を最も 力検整のための悪態ならびに選

放送要旨

は二千百萬トンを保育し第一位を

調整料制度採用か

鮮滿間價格差調整の具體策

新聞題を含めず)となつてあるのは、両名の債者差の問題 が繋が常戯の膨胀となるに空り、日を耐るに洗つて破戮な問題にお で繋り、最早放出し得ない跛跡に對達するに洗つて破戮な問題にお する一元的関係が耐い値でてその打開策が最も大きく する一元的関係が耐い値ででその打開策が最も大きく する一元的関係が耐い値ででその打開策が最も大きく でて考究されつゝある、即も当場支資場の最大の順時(運 がよるをのは物交流の現状よりして軽減解がか最も大きく

通關關係は共同檢査 が弱へられてゐるが、第一

自图自

新聞を讀む場合

要は、品を造る、事

北鮮鰮の活用問題 本府筧技師の視察談 つて一切の政治色を抜きにしなが **海新俱第一回總會** 

起演――上画、五画。

半島の計畫造船

近く造工組合と契約<br />
窓よ實行の運び

興亞鍊成所

中將大三郎

老 船 **Æ** 

紫源都藥房出

が乗ぎ

住所了京城府区并町武衛地二移非督三八昭和拾七年五月武拾移株式曾匹丸并商店都是,取締役

統制會の加入

輕金屬、油脂と決る

泰青少年運

動に拍車

南七千六百四十二宋に達し、こ

エズ派河およびエジプトは、

定しその價格一般ブランをロススレリーは緊急関係で買収を決 アヤイルド家に用立てさせ

何故、フランスがエジプト心臓した、で英國はエジプトを心臓した、サンドリヤ宗跡が行はれ、次い

の成熟を拾てて接近し日敷戦戦のの成熟を拾てて接近して、両國は多年を影形両國に與へ、両國は多年

**一次館の地中海の舵行徹も原動かは聯合國が依然確保し、從つて** 

容加しなかつ たかは出兵の政

当一戦一側の好機はこのゴ人の



メイプライター用 複寫紙

成せられたのだ、この関河味の

大人にチャンスを密したわけだ 獨伊の脅威

大戦を強へたわけだ、當時ドイて一九一四年から一八年の世界

いまは没落を辿るばかり

父艺居

かくて十九世紀を通じて英語

その後に來る個伊對英國の地

を称へるならばその後の場

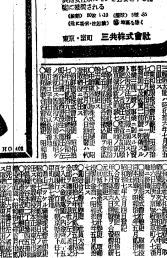
英沒落の姿

きおてき









葉綠素 トを語る

東き解釈は生命の樹地――といる態態で――次に居られる解 の内容は破裂なき場合には、いこうの概略を主ねがれません。 とすら日本協良は、続って、科 をする原成でなくてはなりません。 故に本がなかん 全の思想である。エネルギー 全の思想である。エネルギー 学来、他と言ばて、原形質を分泌するコロイド物質の機構であって則ちが生品環がである。
ルカ・戦者の間に非常にみ
しかり、しかられてあるイー

**みたのが肉付を増して肥つて** 

月迄に完了作業合同八

セドノン◆鸚哥

堂英熏成大

齒痛 VC

18 9

く見える!

授業を行はざる日

共榮圈建設は先づ内鮮一體から

老軀を提げて 四宮翁來鮮







用紙

学工業株式會式

弊組合へ其ノ筋ノ御承線フ弥に同二十一日野組合へ其ノ筋ノ御承線更致候間此段離告候也当予根線緩緩にの一次の一個不能の一位の一位では、

名稱變更廣告

朝鮮中部防空防火協會

◎呈贈本見容內◎

昭和十七年七月二十 一日

(改稱) 朝鮮織物旣製品類中央配給組合(養稱) 朝鮮 被服 元 邱 祏 組 合

河 两张向日小川石小京東 帝三四四七一京東春辰

西波分泌道を証・心胸痛・背炎・飲煙性質酸過多症・心胸痛・背炎・飲

の別録

胃腸病に

\*念理活生な明賢を性知な次高

なく、たゞ默々と、武脈も認らず、生命さへ暗然の海野謀く沈めつくして鶴みぬ徴

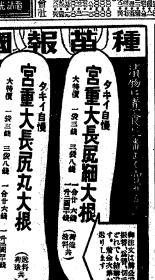
- 19第三本、中華 | 圏の活動力管理をはかることへは代表五百能名が参加、本る八一から至りしてことは、 (別集) が、勝敗などの東部現一つたが、総鐵器では本所なびる道代表五百能名が参加、本る八一から至りしてことに、

定員外參加者

如の紐帶固

宮重大長尻丸大根 清物に煮食に番よく資かる タキイ自慢







夏を征服 身鍛錬期間

早くなります軍事郵便

二、三日中に道農會から配給

「ナなどに郷地」脱より一箇につき二、三嶷安となだして改設すが「風さうといるのである、健院は繁

共榮圏の建設も

海洋日本。確立から

海の記念日新貝羅團長放送

第一回海の昭然日に第る廿日午後七時三十分か一ありまして、野海瀬に取りましら可以海軍整閣職よい、海原はは日に従て」と称り金、すので、この日を以て海の記念日に成て」と称り金、すので、この日を以て海の記念的に対して、野海瀬に取りました。









秋晦種苗目録 京城府郷官町・電話米登川記・仮将京城 芸書 朝鮮 タキイ種 苗株式 舎 社

解 雇 廣 告 中 央 與、業 組 合 解 雇 廣 告

風俗

日 報 前

局車展

三中本

六階畫廊

合

た献金 -內管署東城

城東中、京城武策、頻順高女

なほこの日、

に取つて城東の市街に

城からは『浪曲』版田孝子の舞踊』で『東京萬級』近江富士を始め京 後しました。」行は眩शの顧訊を しに驚かりました。」行は眩शの顧訊を しに驚かりましたが戦器を顕然で新見に向け出 小島書と『私はこの度名楽のお召 といふ繁華な歴川政繁晩が廿日午 | 込んだ一通の钙書の中に全十円の千田京恵麻総帰部長が『部隊長』 | 現れた、その日の午後同點へ舞ひ 援護曾から々美ひの慰問使々して在衛皇軍を慰問しようと

糸紊れぬ行動

十八日正中から三時間 (総長) 大田寺名を祖仏方れて一 の學校総方跡の瀬徹は 酸良は臨時、巡察、傳令、醫療・ 坂東楽鑑内における跡」で説の訓練をうけた 學校總力隊の初演習

速らせつ人同三時終了したも繰り出して若い単定の感激を 聞に沓かれても知らんぞ」と一本 果れた審員は低く弱へてゐ 大部分は京城人

ありません』と切々と浴びた交配」の私立光新聞製役の作組場へ三年

は嵌送人の心を掬みとつ「作業に就かせることとなつたま)。 徒の顕微に数すため 生以上の生徒四百名を送って動勢 から午後三時迄)典農町に建築中 商務學校ではその第一日を生

そこをわが家と心得て大の学 質した軽負なカン!

**留ひ難さうに、** 方をみつめた、すると、恭太即が 健吉は、かう言つて、恭太郎の わしもさうなれば、何よ

品戲

發變電用機器 通信用機器 踱山用機器

製鐵製鍊用機器 纖維工業用機器 土木建築甲機器 一般工場用機器

行發社聞新日朝

**Ô** 

朝日編 清空讀本學 10清空和詩本 昭和十七年 定債 大東亞戦版 送・二四大東亞戦版 送・二四大東亞戦版 送・二四 に原動配下の各層自身誇る 系統特に関 種類が登るので、一郎下 世界公洋の各類評損に必須の列動室用規名資本 \*\*校★世界滑空機な資業★

なつた。

勤勞の暑休

京城商業の構へ

軍人援護會が笑ひの慰問團の **動師を描いて全職員脳に全夜生の** ・ 現取りできる十七日間**が**展演説の スマトラ・バリ島篇 | 文化、産業、風俗 風俗を主にしたる貴

0

催

京

城

Ħ

報

社

京城三中井六階催物場七月二十一日より二十六日まで

會

場期

轉ばぬ先の杖

女高花梨

「国然服総織の野線を 友生の鬼疫うりられたできょうして、 関係を保防すると我に 上の血液検査を行つて若しら皆 にない 国校では数年前から毎年三回以 悪疫豫防に血液檢查

去る十八日午後一時半頃貨物自動

®★·三O

|十七、二十八日町||本七十一、二十二

一般の 低速 を誘ふため かみそ

合階級、各方配の實代者を集めては百萬冊氏の指導的立場にあ は百萬俗歌の指導的で場であって

古市府尹心參加

突く雨の中を板館液長以下職員、

生徒八百名が孤動場に整卵して、 『忠魂碑』の除帯式と殷郷祭を施

**愛假格で廿日附左の通り指定、即** より朝鮮産勝翁(白土)の最高版 道では慣榕統制會第七級の規定に

無許可雅業者は全部司法院分に

れた場合。これらの

振られた腹い せに居直る

ました

朝鮮產煙粉 價格決為

されるわけだ。「魔者の人衆器を使して展開

東大門署の東大門署の

る昭和十三年山西省水源縣で名一卯者一同の敷源を買ひ京藤健兒の

京城商業の『忠魂碑』除幕式

大東亞殿の開始と共に工芸五千大東亞殿の開始と共に工芸五千円を計工して同後庭東南原に建ったされたもので、陳文は平島を生るに際し最後の原出のために、西文は中島を開つた南南総督の領域が全球になった。

『新聞はありませんか……』

新りに乗出す 東大門署が5

偉勳永へ

VZ

薫る

と漂 香勇しく 街頭を挟

ひに御用心怪しい屑買

各階層の指導者を集めて

みそぎ、一日講習會





| 政に戦会資配した 

加平産党組合運動手李錦水でしば で轢逃げ 中某さんに懸想して忍び込みプこの男は一年前から金崎家の女 加平郡々内蔵邑

も影なお合しでね、干額子のこと の概まりも早かつたらうに、あれ『昨日くれば、二郎もゐて、相談







町三ノ二八二金崎遺伝に侵入した帰路勝窓で高温をまいた帰内訴金



て行つたか知らないで怒つてゐる 『あんたは』 影が、子鶴 うやん お呼が堪まり乗ねたやうに巡っ 

するらば海に山に、休みを利用 一千人、頻度學校三百五十校廿

清用観察と簡値向上の一石二鳥を狙つて大いに頑張ります

のために載つてゐる堕海軍の兵隊さんのことを考へると、

●を開催する
●を開催する

休まぬ休暇

の編成

づから別なんです

何だか落着き

部本鮮朝赤日

**ようと仁川月略勝に聖季** 

一お前にも一度會ひたいと思って

時から仁川月尾島臨海學校で

七部形のため廿一日午後一時から

本町署

O

愛の赤道

H

敏

昨今の街頭の目ま セツカテとはおの

階して路上の放後物、軒 祭に置かれた無度、な商 場面、自轉車、荷車その他 品、自轉車、荷車その他 品、自轉車、荷車その他

**養所開設式 夏季兒童保** 

増産に若人の敢闘譜

三十萬學徒が勤勞戰に出動

Rえて本町警査内の目奏街

所日額 **債 償 還** 朝鮮銀行本店及朝鮮所在各支店。 既 恰一萬 圓 也 公告 番別ノ貿券官機致吹ニタル同社第監回物上援

第一京西組幣本場への御用等は最非的利用下さの御用等は最非的利用下さ 山彦詩舎 美術騰寫印刷所

美額君 左記住所で辞っ

を出したと言つてゐたが』 意作 |(締 (160) 止歩/高章 ノ白純 森能/上章 品製 製 粉







夏,李雄(5) 

















女事務員採用













第1天七人 竹馬二 全五 第1天七人 竹馬二 全五

氣冷藏率





| 15 | 何局にても貿人れた| | 一番 | 何局にても貿人れた|

電話本局八一番









<u>ĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸĸ</u>

主要陣地を奪取

獨伊軍猛攻を續く

獨軍を敵視せず

了港民衆、引揚勧告に應ぜず

海軍省許可诱羽五七一號 「選挙型器を織ける海の勇士」

けよ日の丸七つの海

全印一致の獨立運動展開へ!

ボース氏、決意を語る

艦隊は先週中も聯合國「は北水洋中部、大西洋、リブ海の際でをとこのによれば獨潜水」めた、即ち獨潜水艦隊「コ灣"べ、ス・ペー譜音響監影線をして「横行、多太の戦果を收」シッヒー

川五隻<br />
撃沈<br />
。龗

米中型船擊沈

【ベルソン十九日同盟】 蜀国司令 一、南部武蔵では道路上の悪体供

獨軍、敗走の赤軍急追

リスポン十九日同盟] モスコー、ロストフ舞道に沿つて南下中の閩軍有力影談は、赤軍の蔵園な拡抗を突破して 遊にロストフ東

**して南方へ進撃中でロストフ攻防戦における獨ソ兩戦車部隊の決戦は 有史以來、ロスト7蹶重を源に利用と軍を南下せしめつつありとじなれ また他の モスコー情報は數百臺の間** 

ストフ十里に迫る

ドン盆地全域の喪失目前認識

獨の優勢を認む特派員

赤軍はまだ完全に職地を放棄する急退中であるが、ボロネジ地階の 急退中であるが、ボロネジ地階の

獨落下傘部

南進を輝けドン河下流に野逢し 芳地隔におい 兵部隊をもつ

これを占領し

職国機用部隊ならびに歩兵供

ン 下流に到達 獨機甲部隊ド 日同盟 極正司令

男兒服少女服

**有用从簡單服** 

烈攻擊 八月號 海軍報道班員の感激 ||||お臺所-物經濟秘訣集

の女子環預る大工場の女監督座録

## **音** (表 ) 世 養証長) 世

で 夏の活けれる講座 繁 一 夏の活けれる講座 繁

◆ 最高 砂型 大脚子 ・ 中河與 大調 大脚子 ・ 中河與

定價五十錢 大日本雄辯會講談社 9

• 〇七町吉新府城京

の感だ。加ふを関がは、無

新發見ノ室内四半の出 ◎ 三百 · □ · 回。 · · ユニオンジャックは代るのだ 世界七つの海に燦をる日巻を の戦況を群 事。 第23章 第25章 **草** 3

九五二浦登永話電 七二三城京替振 いし美

錄。目 苗 種 <sup>星進代集</sup>

用藝園庭家・用園農作自・用場農般ー



神宮大前で安全祈願祭

海の强者に幸あれ

京仁六十餘の國民學校生徒

が後國民の志氣昇橋と吾 をの子孫の文化職及の爲 ・ 本作日最歌音時の独音市、大山 ・ 本ルの音見等の強音が十日あれ ・ 本ルの音見等の強音が十日あれ ・ 本ルの音見等の強音が十日あれ ・ エルの音見等の強音が十日あれ ・ エルの音見等の強音が十日あれ ・ エルの音見等の音音が一日の音 ・ エルの音音を表する。



的問題的語言 国丁二町元南城京 番八三六山竜話電

病原を防ぐ 口中殺菌と

一夏夏け

0

Ì



仁凉拂暑 丹しふさ

后

補胃しを腐

促発者化と





ぜん息神経痛

輸送船員に表彰狀





一時半から職盟軍務局會議室

てお困りの方へ

打倒蔣介石叫ぶ、遭難支那船員

(側向局便郵門化光)

与ノ

い色彩研究は

ムツソリーニ

まだに、子供さんを見て「色のお あるが、それはお医者が見ると」といはれて喜んでゐるお母さ 紫外線の不足した、 紫外線の不足してゐる色は 女の人の顔



親の色、日當りの悪い色、それは

第一位間に ・ 日本の ・ 日本の













3 挟間文熱帯関軍の常識

マレー作献 | 「脚彫したが平紫の部銭のおかげで」・幸福の後島繋がある。 一度これに | 縁ふやうにして切り抜けるでしていい様が | 脚彫したが平紫の部銭のおかげで | 中部部がを見するらいに関方 の中をほんの節かた川崎から

挺身偵察部隊の苦心

強い子は悪

ALL S

る語は驚荒のれ譽

石井漠公演



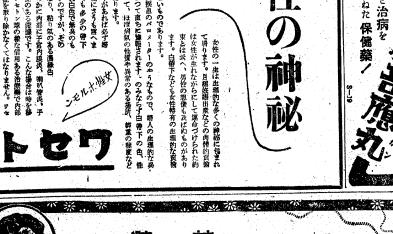


**素** 肌 美 夏のコロンの きゝどころ

九圓七錢也

九軍神頭影金









歴 毎 戦争成体 節水ンイワトーポ玉赤

2(1)-228